

## 事例から論文の読み方を学ぼう

参加者募集！

定量的に実施された研究論文を読むことは、臨床的疑問を解決する有用な方法の1つです。そのためには研究デザインや統計学の知識が必要です。論文を読むには、「明らかにしたい研究仮説」と「研究デザイン・解析方法」を対応させて、構造的に論文を読むトレーニングが重要です。もちろん、臨床的な用語だけでなく、統計的な用語を知っていることで、より論文を構造的に理解しやすくなります。

本セミナーでは、量的研究の研究デザインと統計学の基本的な考え方を学んだあとに、実際に論文を読解することで、量的研究の理解を深めるというステップを踏みながら、論文読解力を高めていきます。

**対象者** 看護系大学の学生や教員、看護師、保健師を中心に、医師・栄養士等を含むすべての医療従事者

(研究に取り組んでいる方はもちろん、量的研究から得られる知見を実践で活かしていきたい方、これから進学を考えていらっしゃる方など、量的研究の知識スキル向上に関心がある方は、どなたでも受講できます。)

**開催日時** 2022年6月25日(土) 10:00~15:45

**開催方法** 新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえ、オンラインで開催します。

**プログラム** 裏面をご覧ください。

**本セミナーの特徴**

・ライブ配信を視聴できない方や、復習をしたい方は、講義後8日間オンデマンド配信を視聴できます。

・ライブ配信では講義後に、音声やQ&A※での質問が可能です。  
(質問は、講義内容に関するものに限ります。)

※ビデオ会議ツールZoomのQ&A機能のことです。

**申込方法**

当協会ホームページの「医療職のための統計セミナー」ページの申込みフォームからお申込み下さい。

<https://www.hws-kyokai.or.jp/seminar/kango.html>

**受講料** 10,000円(税込)

**お支払い方法**

オンライン決済システム“Square”を利用した「クレジットカード支払い」、又は「請求書支払い」のどちらかを選択いただけます。

・「クレジットカード支払い」・・・お申込み確認後、当協会より請求データをお送り致しますので、請求データ受信後、速やかにお支払いをお願いいたします。

※Squareについて・・・<https://squareup.com/help/jp/ja/article/5138-pay-invoices-with-square>

・「請求書支払い」・・・請求書到着後、2022年6月8日(水)までにお支払い下さい。その日までにご入金のご確認がとれない場合は、キャンセル扱いとさせていただきます。

**申込み締切**

2022年6月2日(木)

※お申込み後のキャンセルのご連絡も、2022年6月2日(木)までをお願いいたします。

**定員**

200名程度(定員になり次第×切)

**配信方法**

ビデオ会議ツールZoomを使用したライブ配信セミナーです。

Zoomの動作環境等については、Zoomのホームページにてご確認ください。

動作環境・・・<https://support.zoom.us/hc/ja/articles/201362023>

動作確認・・・<https://support.zoom.us/hc/ja/articles/115002262083>

Zoomは、Zoom Video Communications, Inc.の米国およびその他の国における商標またはまたは登録商標です。

**その他**

受講者には、講義終了後「領収書」と「修了証」をお送りいたします。

講師

友滝 愛

東海大学  
医学部 看護学科  
特任講師

坂巻 顕太郎

横浜市立大学  
データサイエンス推進センター  
特任准教授

森田 光治良

東京大学大学院  
医学系研究科附属  
グローバルナースリサーチ  
センター 特任講師



医療職のための統計セミナー

〈お問合せ先〉

〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町4番9号小伝馬町新日本橋ビルディング3階

TEL: 03-5623-4123 FAX: 03-5623-4125

当協会ホームページのセミナー・講座のお問合せフォームからお問い合わせ下さい。

ホームページ <https://www.hws-kyokai.or.jp/>

# プログラム

配信日	時間	講義科目(講師名)
2022年 6月25日(土)	9:55~10:00	<u>ガイダンス(厚生労働統計協会)</u>
	10:00~10:20	<u>講義①ヘルスケア分野における量的研究の役割(友滝 愛)</u> <p>「ケアを数値で評価するのは難しい」「患者の個別性は数値では評価できないのではないか」「量的研究は苦手」といった悩みや疑問の声をよく聞きます。もちろん、臨床的な疑問を明確にするための質的研究も重要ですが、臨床的な疑問を解決するためには、量的研究も必要です。関心のあるテーマの論文を探してみると、誰しも一度は量的研究を目にするようになります。</p> <p>実際の臨床現場では、複合的な要因により、様々な事象が生じています。これを「測定」というフィルターを通すことで、関係性を明示的に記述したり推測することができます。また、研究としてデザインして測定することで、ある程度のエビデンスレベルで説明できるのが量的研究のメリットです。このような知見の蓄積が、未来の医療を支える根拠の1つとなります。</p> <p>この講義では、「量的研究の論文を読む知識スキルの向上が、明日の臨床実践や将来の研究にどのように役立つのか」を理解することを目指します。</p>
	10:20~12:00	<u>講義②統計的観点から説明する量的研究概論(坂巻 顕太郎)</u> <p>臨床現場では様々な疑問(clinical question)が生じます。その疑問を解消するために、科学的に答えられる疑問(research question)に翻訳し、答えをデータから探索・検証することを多くの研究者が行い、論文にまとめてきました。このような論文を書くためだけでなく、論文を読むためにも、統計的な知識は必要になります。データをどう集めるのか、集めたデータをどう解析するのか、解析した結果をどう解釈するか、といった観点をもつことで、論文から見えてくる世界が変わってきます。</p> <p>本講義では、主に、治療やケアなどの介入の効果や影響の評価を目的とする量的研究の論文を例に、論文を読むときに知っておくとよいポイントを統計的観点から解説します。</p>
	12:00~13:15	昼食休憩
	13:15~15:45	<u>講義③論文を読んでみよう(実践編)(森田 光治良)</u> <p>論文には一定の書き方が存在します。論文の書き方に沿った論理展開を追いながら論文を読んでいくように心がけることが論文を読めるようになるための近道です。また、研究方法や統計で知らない専門用語に遭遇したときも、研究方法と分析結果の対応を意識した読み方が役立ちます。</p> <p>この講義では、実際の論文を取り上げ、どのように論文を読んでいけば良いのか解説します。</p>

## ○当日ライブ配信

講義開始10分前からZoomセミナールームに入室可能です。

○ライブ配信を見逃した方、復習したい方は、オンデマンド配信(講義後8日間)も視聴できます。

○講義後、音声やQ&A※での質問が可能です(質問は、講義内容に関するものに限ります)。

※ビデオ会議ツールZoomのQ&A機能です。



一般財団法人

厚生労働統計協会

<https://www.hws-kyokai.or.jp/>